



岳南朝日新聞社  
〒400-0043 富士宮市野中東町46-1

# 富士宮高校会議所 新商品開発へ意見交換 「さの萬」とコラボしアイデア提案

高校生の視点で地域振興や地域ビジネスを学ぶ富士宮高校会議所(吉村未夢会頭)とさの萬のコラボして新商品の開発をスタートさせた。16日、さの萬の



新商品について話す佐野社長(奥右)

佐野佳治代表取締役社長と中野美保子同会議所アドバイザー(株式会社くり代表取締役)、同会議所メンバー10人が同店を随時接覧で商品のアイデアを出しながら意見交換した。  
佐野社長の、新商品のアイデアを同会議所と一緒に進めたいとの意向が市商工振興課から同会議所に伝えられ実現。同日、佐野社長が同会議所のビジネスモデルのワークショップや風祭商品の開発など地元につながる活動に注目している点や、店の歴史や特徴、商品

の価値などを説明。中野さんは「富士宮らしい総菜や贈答品として商品にするには、ターゲットを絞る、強味を採る、コラボレーションで新しいアイデアを発見する、コンセプトで価値を上げることが必要」などとメンバーに説明した。  
次に、佐野社長の案内で同店売り場を見学。社長は売れ筋の商品や接客方法などを説明し、ドライエイジングビーフの工房を紹介し、

「当初はアメリカからビーフを輸入する予定だったが、自身で製造した方がおいしく、コストも見合」などと説明した。  
最後に同店向かいのレストラン「La C ave」に集まり、総菜で人気のクロックを試食。佐野社長は「まずは食べてみて、当店のらしい総菜のヒントを探って欲しい」と話した。  
同会議所リーダーの勝亦海史さんは「貴重な体験と機会を得るきっかけを作ってもらいたい。今後の商品開発に生かしていきたい」



クロックを試食するメンバー

い」と述べた。  
今後、8回きごとに商品のアイデアをまとめて年度末に商品化する予定。